

國府

能島ニ與シテ貨利ヲ得ル故也。讚州ノ諸將外ハ細川家ニ服シ、内ハ大内家ニ倚テ能島ト語ラヒ、大明朝鮮ノ船ヲ渡シ、貨利ヲ得テ國用ヲ足シム。是亂世ニ國家ヲ保ツ一助也。○下

〔倭名類聚抄五〕讚岐國國府在阿野郡行程上十二日下六日

〔菅家文草詩四〕丙午之歲二年仁和四月七日、予初莅境巡視州○讚府、府之少北有一蓮池、池之近東有一

長老、○下略

〔南海流浪記〕十二日○仁治四年二月サヌキノ國府ニイタル、路間六里、廳沙汰トシテ有祇候、

〔全讚史都一〕上古國府 倭名抄云、國府在阿野郡、

阿野郡の何處に有事を知人稀なり、因て考るに、今の府中は古へ國府有を以て云ならん、古は此地を甲知と云、日本書紀には河内と云、是古名ならん、河内甲知國音同じ、然るに其府の所、定かに知がたし、按ずるに、菅家文草云、予初莅境巡視州府、府之少北有一蓮池、蓮池とは今の國分村の關の池なり、余○勝が壯年の時迄は猶蓮子多かりき、今はなし、又云、關法寺在府衙之西、此二ツを以て考れば、蓋、今の新宮の邊より綾河に跨て有と見ゆ、余往年新宮の山にて古瓦の全形なるを得たり、甚偉矣、是古府の瓦ならん、此府讚留靈王より元弘建武の頃まで、王政の間の治府なり、

郡

〔倭名類聚抄五〕讚岐國○註管十一○註大内於布寒川佐無三木山田夜未香川介加阿野綾鵜

足利多那珂奈加多度 三野乃美乃劉田葛

〔延喜式民部〕讚岐國上管大内寒川三木山田香川阿野右爲中國

〔拾芥抄本朝〕讚岐中十一郡、大内、寒河、三木、山田、香川、鵜足、那珂、多度、三野、豐田、阿野、野、香東、大

〔讚岐國總村高帳〕寛永拾六年卯三月朔日極り帳與書ニ